

事業の背景・目的

スウィンホーキノボリトカゲは、平成28年9月に当市沿海部で個体が確認され、その後の調査で定着が確認された。これにより、生態系への影響が危惧されていることから、当該地域の生態系を保全するため、生息地域の拡大を防止し、絶滅に向けた有効かつ効率的な防除方法の確立と行政や地域住民、事業所等が一体となった防除活動の指針となる日向市スウィンホーキノボリトカゲ防除計画を策定するための事業を行う。

事業の内容

事業① 防除手法の実証試験

- ・8月から11月までの4か月間、延べ100日の捕獲作業を行った結果、オス154頭、メス69頭、幼体74頭の計297頭の個体を捕獲した。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、集団による下草刈りの実施を見送った。

事業② 広域生息状況調査

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、行政、地域住民、事業所等による一斉駆除及び生息状況調査を見送った。

事業③ 防除計画策定事業

- ・本年度及び次年度の2か年の捕獲実績や調査研究を踏まえて策定する。



得られた成果

- ・延べ100日の捕獲作業により、297頭捕獲した。捕獲方法は釣り竿による捕獲が有効であった。捕獲作業については8月から11月まで実施したが、気温が高い時期に捕獲できる傾向であった。
- ・課題としては、1年を通して越冬している個体の捕獲が課題である。
- ・防除手法の実証試験準備のための下草刈り作業及び広域生息状況調査については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、実施を見送ることになった。
- ・延伸が認められた場合には、下草刈りは、防除手法の研究調査を容易に行うために必要な作業であり、広域生息調査は、生息範囲を確認するために必要な調査である。

